

看護部理念 あたたかい心のこもった看護、安全で信頼される看護を提供します。

「手術室看護師の仕事」

中央手術室 看護師長補佐

さわだ あきこ
澤田 明子

手術室には、テレビでよく見る医師に「パシッ」とメスを渡す器械だし看護師と、あまりテレビでは表に出ない外回り看護師がいます。今回はこの外回り看護師についてお話します。外回り看護師の仕事は、手術部屋の準備から手術の進行がスムーズに行われるように配慮を行い、医師や多職種との調整役を行うのが主な仕事です。その中でも一番重要な役割は、麻酔がかかった患者さんの代弁者ということです。患者さんが全身麻酔で手術を受けるときには、麻酔により一時的に意識・痛みなどの感覚が失われます。そのため手術中は痛い、寒い、熱いなどを自分で伝えることができません。外回り看護師は、モニターや直接患者さんが発する体の変化を読み取り、医師に伝えるという重要な役割を担っています。手術室看護師は、手術当日午前中に病室を訪問します。その看護師が手術担当の外回り看護師です。何でも遠慮なく言ってください。私たち手術室看護師が患者さんの代弁者として、安心・安全な手術を受けていただけるよう、全力を尽くします。

